

都道府県による狩猟獣モニタリングに係るアンケート調査結果

< 狩猟免許更新時の講習受講者を対象としたアンケート調査結果 >

1. アンケートの概要

< アンケートの趣旨 >

- ・ 中小型獣類に関する狩猟者の捕獲意思や出猟状況等について把握し、狩猟数減少との関係性を検討するための材料とする。
- ・ 狩猟者アンケートの手法として、有効性や活用の可否等を検討する。
- ・ 対象獣類：ノウサギ（ユキウサギを含む。以下同じ）、テン、イタチ、アナグマ、キツネ、タヌキ、シマリスの計7種類
(アンケート項目は、猟友会支部に対して実施したものとほぼ同じ)

< 対象 >

- ・ 北海道、群馬県、東京都、神奈川県、愛知県、兵庫県、高知県、大分県における狩猟免許更新者（免許更新時の講習受講者）：計 640 名

< アンケート依頼・回収方法 >

- ・ 上記 8 都道府県の行政担当者に、狩猟免許更新時の講習受講者に対するアンケートの印刷、実施、回収、郵送を依頼（更新時講習は各都道府県で複数回実施されるが、今回はそのうちの 1 回又は 2 回で実施いただいた）。
- ・ アンケート内容や受講者への説明等の実施要領は環境省で作成。

< 実施期間 >

- ・ 平成 25 年 8 月下旬～ 9 月中旬に行われた講習時にアンケートを実施

< アンケートの回収状況 > 回収率：93%（597/640）

対象とした道県	アンケート回収数
北海道	176
群馬	44
東京	21
神奈川	173
愛知	53
兵庫	36
高知	26
大分	68
合計	597

2. アンケート結果

主に猟友会支部アンケートの結果(以下「支部アンケート」という。)と異なる点や、アンケートの実施体制面に関する行政担当者の意見について、以下にまとめた。

(1) 回答者の属性

- ・20代～50代の回答割合が過半数。支部アンケートよりも回答者の年齢層が低い。
- ・過去3年以内に免許を取得した割合が最も多い(支部アンケートと真逆の傾向)。
このため、以下の結果は近年の免許取得者の意向が反映されたと考えられる。

(2) 狩猟者の意向(捕獲意欲)

- ・免許取得当時の捕獲意欲は、どの対象種でも支部アンケートよりも低かった。
- ・免許取得当時と現在の捕獲意欲の変化については、唯一アナグマへの捕獲意欲が高まっている。また、他の種については低下しているが、その減少幅は小さい。

(3) 狩猟者の行動(出猟状況)

- ・免許取得当時も現在も、対象種を目的とした出猟状況は総じて低く、支部アンケートのように過去にノウサギへの出猟が多かった等の傾向はみられなかった。
- ・一方、ノウサギは、積極的には獲りたくないが依頼を受けて出猟するという回答割合が支部アンケートより多かった。
- ・捕獲意欲同様、アナグマ猟は、免許取得当時より現在の方が多いう傾向となった。

(4) 昨年度の捕獲状況

- ・支部アンケートでは多かったノウサギの捕獲数が、キツネに次ぐ4番目と低かった。

(5) アンケート実施体制等について(実施自治体担当者からの意見)

- ・講習運営への支障等は特にないが、講習会場に机がない、受講者が多いと印刷が大変等、実施体制面で負担となる場合がある。回収率は予想以上に高かった。
- ・アンケート内容が多いので、せめて両面1枚程度にすべき。

3. モニタリング手法としての有効性

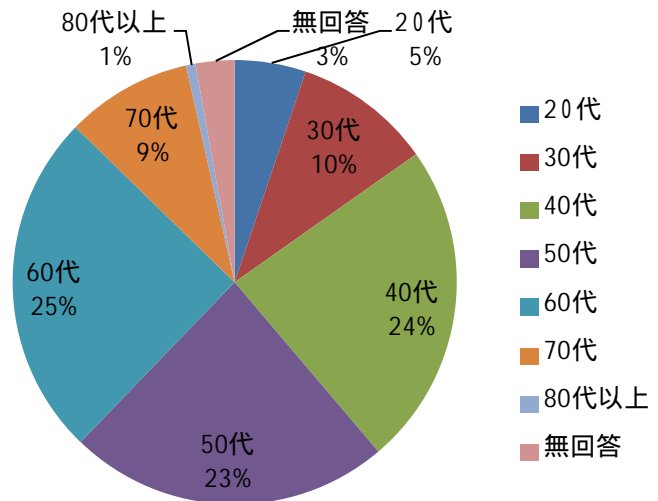
従来からの狩猟現場の実態把握には支部アンケートが適していると思われるが、若い世代や経験の浅い者の意向等の把握には有効な手段と言える。アンケート内容の簡便化等により、都道府県からの協力も得られやすくなると考えられ、今後のモニタリングのための補助的な情報収集手段の一つとして活用可能である。

2. 回答者の属性

回答者の年齢構成

年代別回答件数

年代	回答件数
20代	31
30代	60
40代	141
50代	140
60代	150
70代	55
80代	4
無回答	17
合計	598

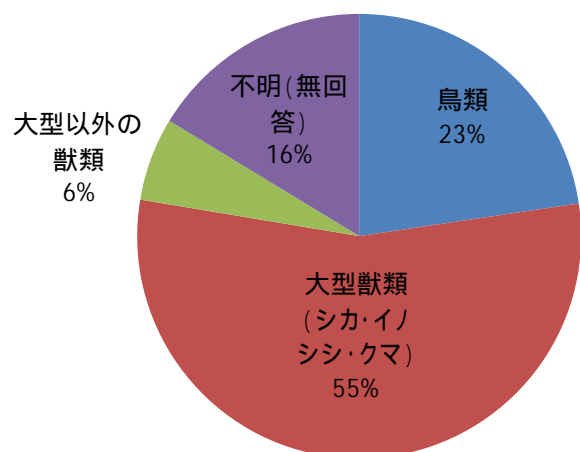


回答者の年齢構成 (回答者の重複有り)

主な狩猟対象

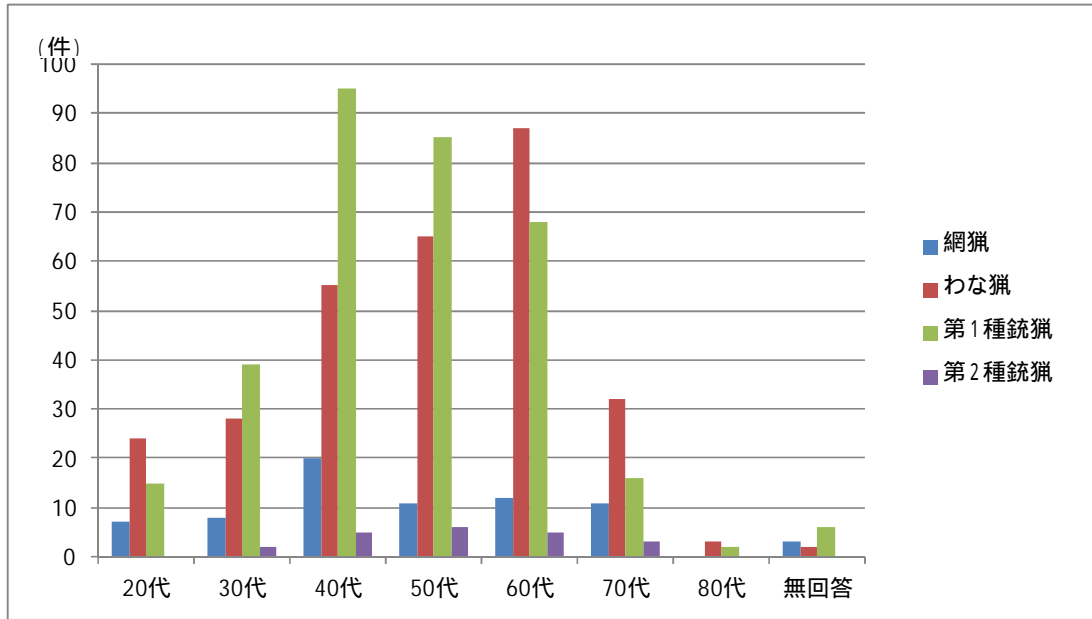
主な狩猟対象としているものの回答件数 (複数回答あり)

主な狩猟対象	件数
鳥類	161
大型獣類 (シカ・イノシシ・クマ)	391
大型以外の 獣類	43
不明(無回答)	116
計	711



回答者の主な狩猟対象の割合
(回答者の重複有り)

年代別の狩猟免許の種類

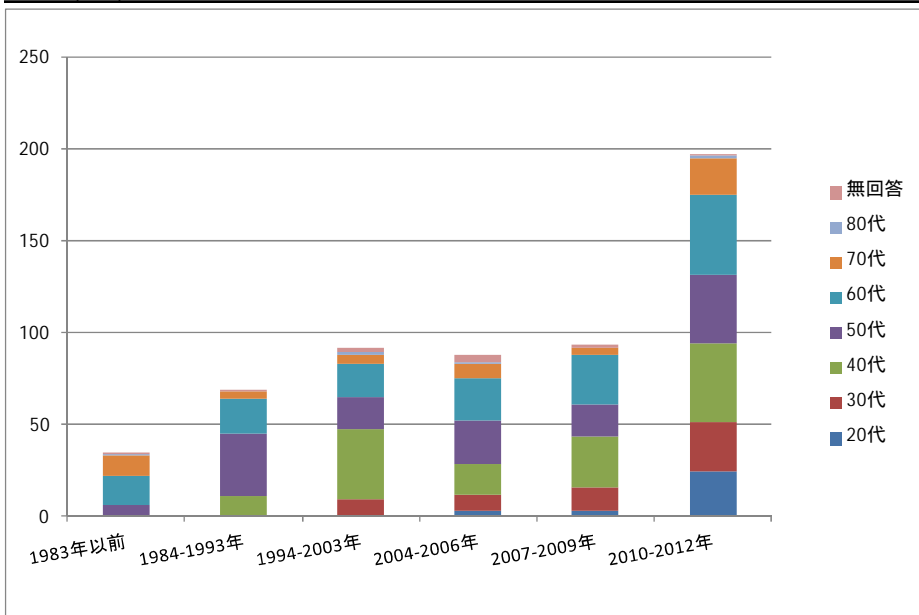


所有する狩猟免許の種類 (年代別: 複数回答あり)

狩猟免許を取得した年度

狩猟免許を取得した時期別の回答件数 (複数の免許を所有する場合、最も古い時期を抽出)

年代	1983年以前	1984-1993年	1994-2003年	2004-2006年	2007-2009年	2010-2012年	合計
件数	35	69	92	88	93	197	574
割合 (%)	6.1	12.0	16.0	15.3	16.2	34.3	100.0



狩猟免許を取得した時期 (複数の免許を所有する場合、最も古い時期を抽出)

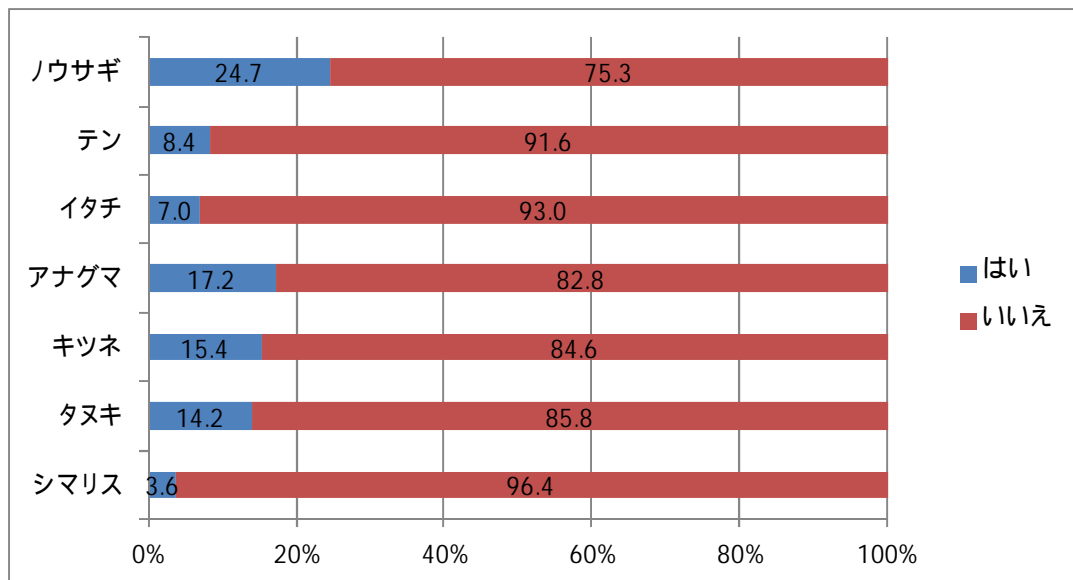
3. 狩猟者の意向

狩猟対象としての魅力(免許取得当時と現在の比較)

狩猟者の意向に関する回答件数

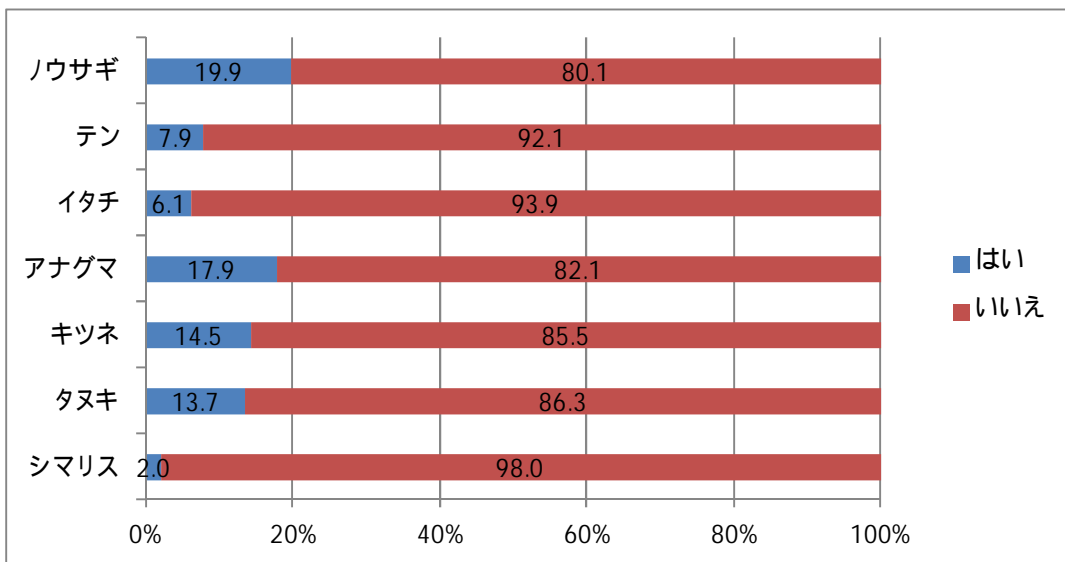
獣類	設問1		設問2		積極的に獲りたい理由 (複数回答可)				積極的には獲りたくない理由 (複数回答可)			
	狩猟免許取得当時は、今より獲りたいと思っていましたか		現在、狩猟対象として積極的に獲りたいですか		肉の利用	毛皮の利用	楽しい	被害軽減	肉の利用がない	毛皮の利用がない	楽しくない	その他
	はい	いいえ	はい	いいえ								
ノウサギ	101	308	87	350	31	11	14	47	128	76	70	103
テン	34	372	30	348	6	9	4	17	103	91	75	102
イタチ	28	371	22	336	3	4	3	15	113	103	74	92
アナグマ	46	222	44	202	9	5	1	35	67	56	47	63
キツネ	65	356	55	325	5	8	7	49	97	111	71	89
タヌキ	60	364	53	334	10	7	2	46	112	108	77	80
シマリス	4	106	2	98	2	0	0	0	37	40	22	18

設問3： 狩猟免許取得当時は、今よりも獲りたいと思っていましたか



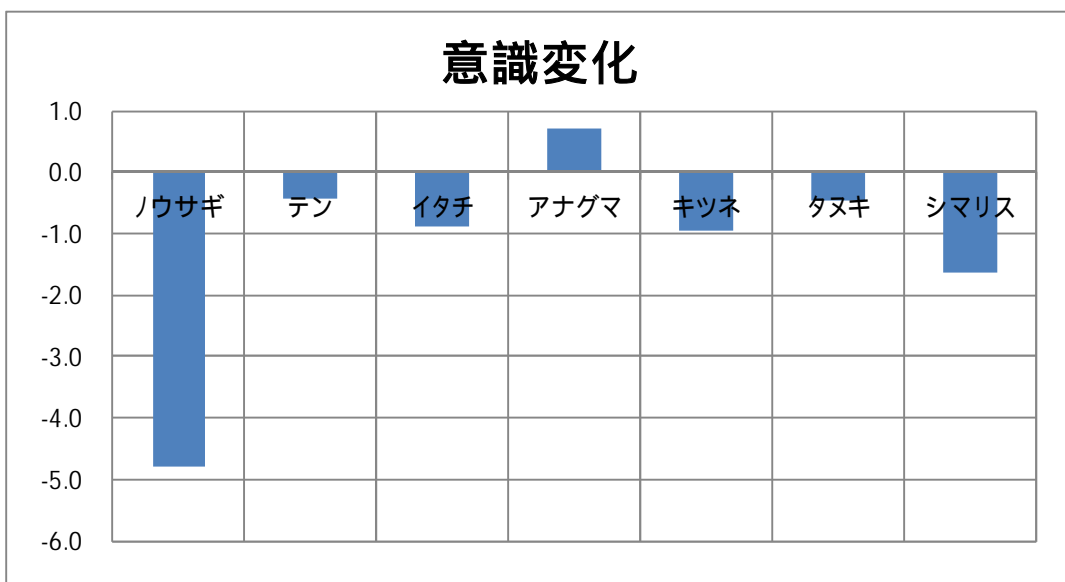
全回答者の集計(数字は%)

設問 4：現在、狩猟対象として積極的に獲りたいですか



全回答者の集計(数字は%)

狩猟者の意識変化(免許取得当時と現在の比較)



対象種に対する狩猟魅力の変化(数字はポイント)

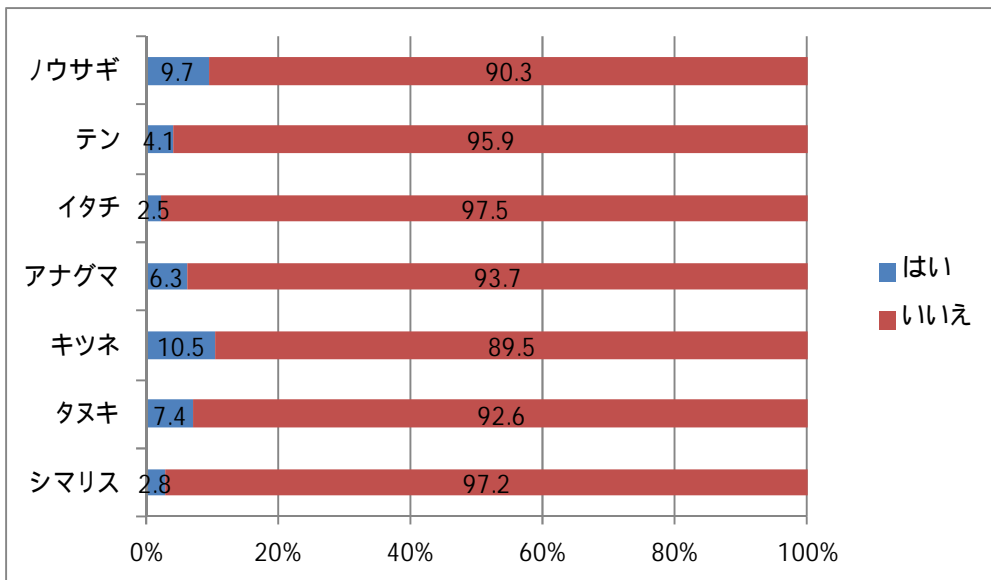
4. 狩猟者の行動

出猟の状況

出猟に関する回答件数

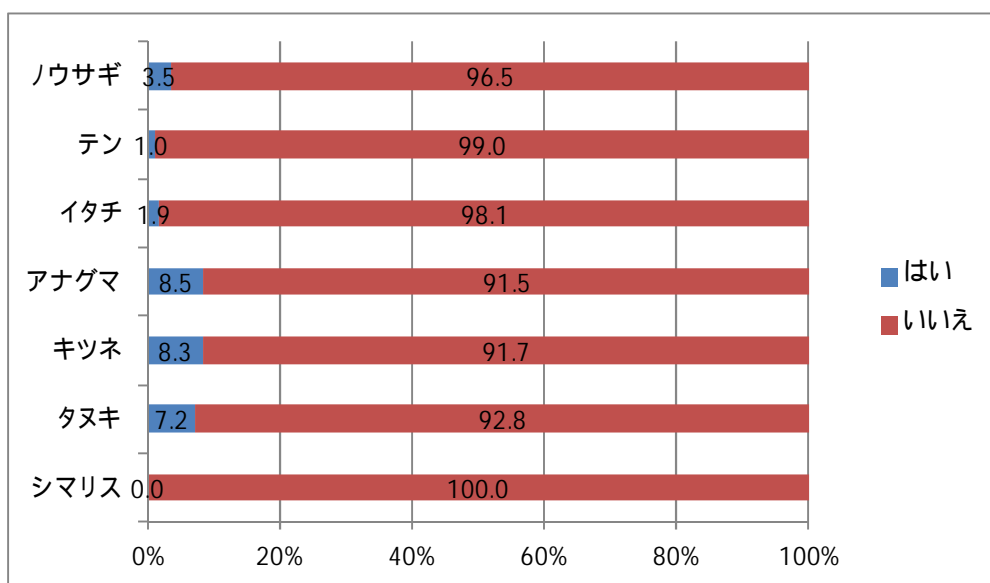
獣類	設問1		設問3									
	当時は今よりも対象種目的で出猟していましたか		実際に、現在も対象種目的で出猟していますか		「積極的には獲りたくないが、出猟することがある」という方は、その理由を選択下さい			現在、出猟しない理由を選択して下さい				
	はい	いいえ	はい	いいえ	依頼	誘い	その他	時間がない	体力が不安	事故が怖い	獲物がいない	その他
ノウサギ	39	362	15	418	13	4	6	90	9	5	92	117
テン	15	347	4	384	5	2	5	75	7	7	86	102
イタチ	9	354	7	365	9	4	7	69	6	4	66	99
アナグマ	15	224	22	236	13	3	7	51	6	4	42	70
キツネ	40	342	32	352	21	6	8	78	12	6	58	104
タヌキ	28	352	28	360	23	5	7	76	13	6	47	93
シマリス	3	103	0	100	0	1	2	22	5	1	14	17

設問1：狩猟免許取得当時は今よりも対象種を獲る目的で出猟していましたか



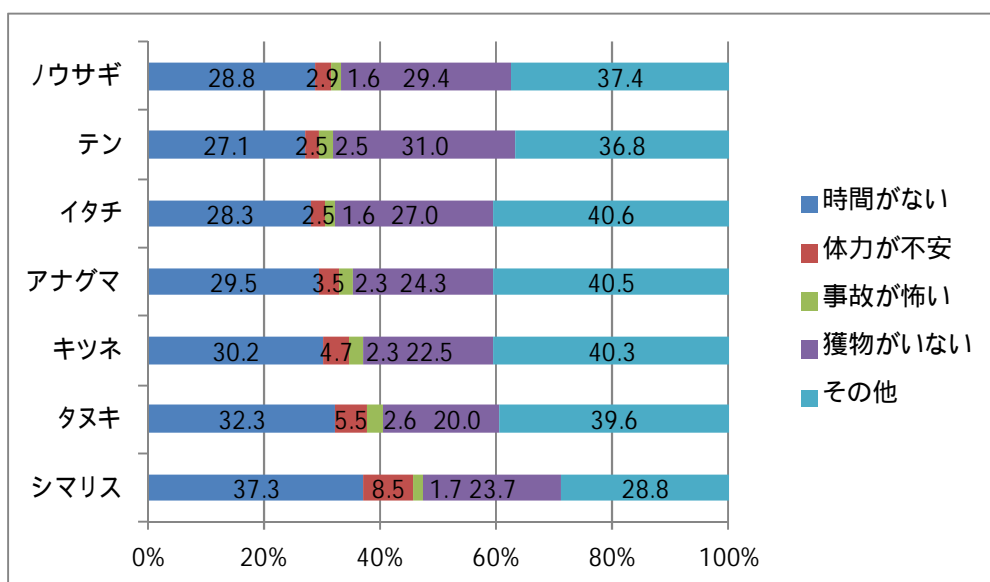
全回答者の集計(数字は%)

設問3：現在、対象種を獲る目的で出猟していますか



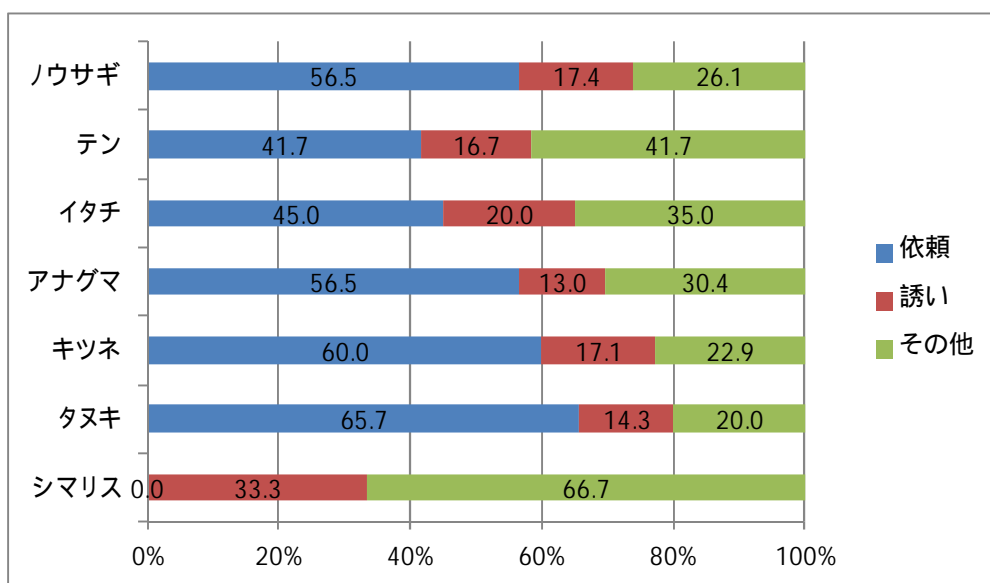
全回答者の集計(数字は%)

【いいえ】の理由



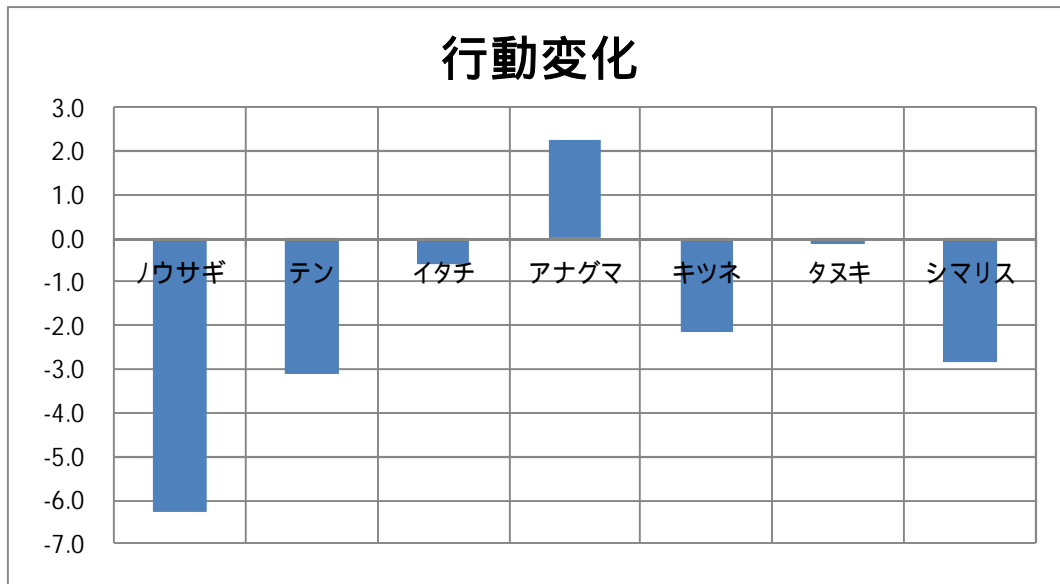
全回答者の集計(数字は%)

【積極的には獲りたくないが、出猟することがある】の理由



全回答者の集計(数字は%)

狩猟者の行動変化(免許取得当時と現在の比較)



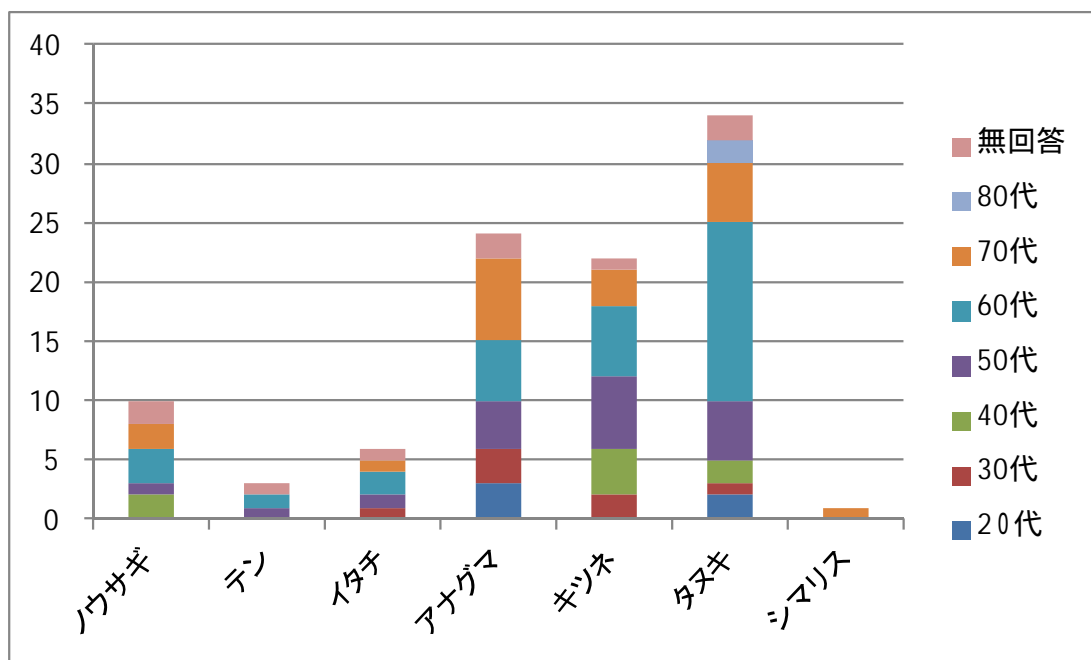
対象種を目的とした出猟状況の変化(数字はポイント)

5. 昨年度の捕獲状況

捕獲に関する回答

回答者による平成24年度登録狩猟頭数(複数回答あり)

年代	設問: 昨年度(平成24年度)の狩猟期間に、ご自身が登録狩猟(有害鳥獣を除く)で獲った数を、狩猟獣ごとにご記入下さい。							
	回答件数							
	ノウサギ	テン	イタチ	アナグマ	キツネ	タヌキ	シマリス	合計
20代				3		2		5
30代			1	3	2	1		7
40代	2				4	2		8
50代	1	1	1	4	6	5		18
60代	3	1	2	5	6	15		32
70代	2		1	7	3	5	1	19
80代						2		2
無回答	2	1	1	2	1	2		9
総計	10	3	6	24	22	34	1	100



回答者による平成24年度の登録狩猟頭(年代別の割合)

【参考】アンケート様式

※このページがアンケートの概観となります。アンケートは、このページをコピーして印刷してください。

【ご本人】についてお聞きします。

- 性別（男性 / 女性）
- 年齢（20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上）
- 所在地（市区町村まで） _____ 区・区・町・村
- 主な職種（市区町村まで） _____ 区・区・町・村 _____ 市・区・町・村
- 通常、作業の得意としているもの（複数回答可）
 高齢 大型船舶（ボート、ヨット、カヌー） 大型以外の船舶
- それぞれの年齢を最期に選んだのは何年前か、該当する欄に○をつけて下さい。

	1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16～20年	20年以上
男性						
女性						
第一種航海士						
第二種航海士						

【数の増減傾向】と【捕獲数】についてお聞きします。

- 主な職種で、船舶7種の数は、初めて捕獲漁獲を漁行した時と比べて、どうなったと感じますか、それぞれ該当するものに「○」をご記入ください。

	ノコササ (イササササ)	アサ	イササ	アサササ	カササ	サササ	シマササ
増えた							
減った							
変わらない							

- 前年度（平成24年度）の捕獲期間にご自身が漁獲対象（対象魚種）を増減させた場合は、前年度と比べてご記入ください。

	ノコササ (イササササ)	アサ	イササ	アサササ	カササ	サササ	シマササ
漁獲対象による増減数	個	個	個	個	個	個	個

※例：ノコササも漁獲対象で増減した場合、ノコササの欄に「3」と記入して下さい。

【ノウサギ (ユキウサギ)】についてお聞きします。

1. 狩猟免許取得時とは、今より獲りたいと思っていましたか (はい / いいえ)。
また、当時は今よりもノウサギ (ユキウサギ) 目的で出猟していましたか (はい / いいえ)
2. 現在、狩猟対象として積極的に獲りたいですか (はい / いいえ)。
⇒「はい」の場合の理由を説明して下さい (複数回答可)
〔 肉の活用 / 皮の活用 / 獲ることが楽しい / 動物愛護者の増減)
⇒「いいえ」の場合の理由を説明して下さい (複数回答可)
〔 肉が活用しない / 皮が活用しない / 楽しくない / その他)
3. 実際に、現在もノウサギ (ユキウサギ) 目的で出猟していますか (はい / いいえ)。
⇒「はい」の場合、理由を説明して下さい。
〔 時間が無い / 体力がない / 事故が多い / 獲物がいない / その他)
⇒「積極的にには獲りたくないが、出猟することもある」という方は、その理由を説明下さい。
〔 獣害被害等から試みられる / 風評から試みられる / その他)
4. 実際に出猟した際、鳥獣被害等より多く獲れていますか (はい / いいえ / 変わらない)。
⇒「はい」の場合、原因と思うものを複数して下さい (複数回答可)
〔 狩猟向上 / 出猟数増加 / 出猟範囲が広がった / 獲物が獲えた)
⇒「いいえ」の場合、原因と思うものを複数して下さい (複数回答可)
〔 寒冷低下 / 狩猟低下 / 出猟数減少 / 出猟範囲が狭った / 獲物がいなくなった)
回答の無い場合は、回答欄より任意回答、出猟範囲より出猟数減少として回答下さい。

【テン】についてお聞きします。

1. 狩猟免許取得時とは、今より獲りたいと思っていましたか (はい / いいえ)。
また、当時は今よりもテン目的で出猟していましたか (はい / いいえ)
2. 現在、狩猟対象として積極的に獲りたいですか (はい / いいえ)。
⇒「はい」の場合の理由を説明して下さい (複数回答可)
〔 肉の活用 / 皮の活用 / 獲ることが楽しい / 動物愛護者の増減)
⇒「いいえ」の場合の理由を説明して下さい (複数回答可)
〔 肉が活用しない / 皮が活用しない / 楽しくない / その他)
3. 実際に、現在もテン目的で出猟していますか (はい / いいえ)。
⇒「はい」の場合、理由を説明して下さい。
〔 時間が無い / 体力がない / 事故が多い / 獲物がいない / その他)
⇒「積極的にには獲りたくないが、出猟することもある」という方は、その理由を説明下さい。
〔 獣害被害等から試みられる / 風評から試みられる / その他)
4. 実際に出猟した際、鳥獣被害等より多く獲れていますか (はい / いいえ / 変わらない)。
⇒「はい」の場合、原因と思うものを複数して下さい (複数回答可)
〔 狩猟向上 / 出猟数増加 / 出猟範囲が広がった / 獲物が獲えた)
⇒「いいえ」の場合、原因と思うものを複数して下さい (複数回答可)
〔 寒冷低下 / 狩猟低下 / 出猟数減少 / 出猟範囲が狭った / 獲物がいなくなった)